



令和4年度入学者選抜(一般選抜・前期日程)に係る実施教科・科目等(実施教科・科目・配点一覧表)

学域	学類	入試区分	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		共通テスト・個別学力検査等の配点等						
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語
融合学域	観光デザイン学類(仮称)	文系傾斜	国語	国語	国語	国語総合	共通テスト	100	100(50×2)	100	50	100	450
			地理歴史公民	地歴or公から2科目	数学	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B							
			数学	数学Ⅰ・数学A+1科目	外国語	英語	個別学力検査	300 or 150		150 or 300	400	850	
			理科	1又は2科目			計	400 or 250	100	250 or 400	50	500	1300
			外国語	英語or他から1科目									
	理系傾斜	国語	国語	数学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B	共通テスト	100	50(50×1)	100	100	100	450	
		地理歴史公民	地歴or公から1科目	理科	1科目								
		数学	数学Ⅰ・数学A+1科目	外国語	英語	個別学力検査			400	250	200	850	
		理科	2科目			計	100	50	500	350	300	1300	
		外国語	英語or他から1科目										

注:文系傾斜の個別学力検査では、「国語」と「数学」の得点を比較して、高い方の満点を300点、低い方の満点を150点として換算します。  
※詳細は必ず入学者選抜要項及び本学Webサイトで確認してください。

選抜の基本方針(観光デザイン学類(仮称))

1. 一般選抜

前期日程/文系傾斜・理系傾斜

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語及び数学を課して学力を多面的に評価します。  
理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。

前期日程/文系一括・理系一括

文系一括入試では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題(総合問題)の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。  
理系一括入試では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を重視します。  
なお、一括入試で入学者は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、移行学類を決定します。

2. 特別選抜

KUGS特別入試/総合型選抜Ⅱ

基礎学力に加え小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験(プレゼンテーションを含む)では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

KUGS特別入試/英語総合選抜Ⅱ

基礎学力に加え、英語による総合的な課題(総合問題)、口述試験(プレゼンテーションを含む)を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

超然特別入試/A-lympiad選抜Ⅰ

口述試験(プレゼンテーションを含む)では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

超然特別入試/超然文学選抜

口述試験(プレゼンテーションを含む)では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

在外留学生推薦入試

口述試験(プレゼンテーションを含む)では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

社会人選抜

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験(プレゼンテーションを含む)では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

帰国生徒選抜

国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む)により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

国際バカロレア入試

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験(プレゼンテーションを含む)では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

基礎学力を重視するとともに、口述試験(プレゼンテーションを含む)により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

本書の内容は全て「構想(案)」であり、今後も「変更もありうる」ことを特に記します。

KANAZAWA UNIVERSITY  
融合学域 観光デザイン学類(仮称)  
R3 Ver.1



金沢大学は令和3年4月、知識基盤社会の中核的リーダーシップを発揮できるイノベーション人材の養成に向け、「融合学域」を設置し、文理融合型教育とアントレプレナーシップ養成に重点を置いた新たな教育を先導学類で開始しました。そして令和4年4月、我が国の観光産業を牽引し、新たな観光価値を創出することができる人材の養成に向け、融合学域に「観光デザイン学類(仮称)」を設置構想中です。

柔軟に学ぼう!

1 文理融合プログラムで  
専門知識を身に付ける

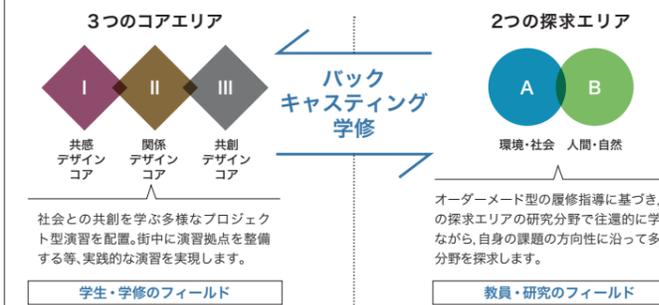
- ▶ 4学域・19学類の金沢大学で、観光デザインに挑みます。
- ▶ 「3つのコアエリア×2つの探求エリア」による学修を実践します。偏りのない文理融合教育のもと、自らの問いを軸に最新の知見や科学技術を広く深く学ぶことができます。

観光の最先端を学べる授業科目が充実

文化観光論/持続的な観光/伝統文化変容論/都市・交通デザイン/観光VR・XR/観光DX/設計デザイン/ソーシャル・ビジネス論/イベント経営論 他

【コアエリア × 探求エリア】

基礎を体系的に学修しながら、先鋭的な学びも横断して学修できるカリキュラム。



社会へ飛び出そう!

2 多様なプロジェクト参加で  
社会との共創や実践力を学ぶ

- ▶ 実践科目や鍛錬科目を通じて、社会との共創を学ぶ。
- ▶ 街中に演習拠点を整備し、自治体や産業界と連携した実践的な演習を実現。



兼六園

海外インターンシップ

本書の内容は全て「構想(案)」であり、今後も「変更もありうる」ことを特に記します。

観光デザイン学類(仮称)の特色

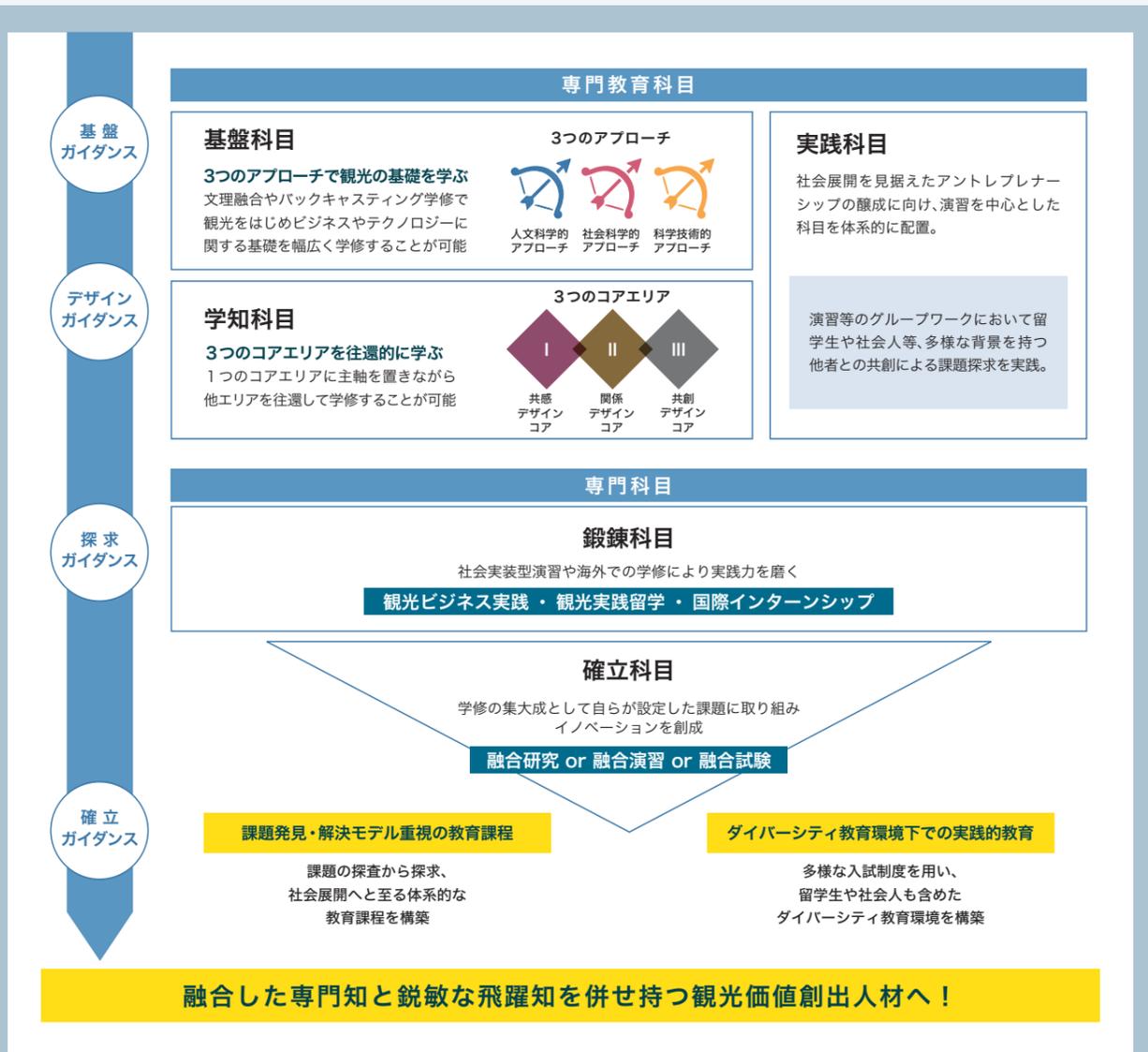
【経済財政運営と改革の基本方針2020(2020年7月)】

ポストコロナ時代においてもインバウンドは大きな可能性があり、2030年に6000万人とする目標等の達成に向けて、**観光先進国を実現するために官民一体となって取り組む。**

【知的財産戦略ビジョン(2018年6月)】

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「**日本の特徴**」をもうまく活用し、**様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る。**

これらの国の提言等を踏まえ、**文理融合型教育**や**アントレプレナーシップ教育**を体系的に行い、新たな観光デザインに取り組みます。



【融合学域観光デザイン学類(仮称)が養成する人材像とは】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、Society 5.0や 新たな日常に対応し、多核連携型の国際観光立国を見据えた新たな観光価値をデザインする人材を養成し、社会に送り出していきます。

【授与学位】

学士(学術)

多様な分野やシステムを融合的・統合的に学修したことを示す、本学で本学域だけが授与する学位です。

本書の内容は全て「構想(案)」であり、今後も「変更もありうる」ことを特に記します。

課題発見・解決・展開モデル型の階層化した教育課程を編成します。

共通教育科目 36単位以上			
導入科目	GS科目	GS言語科目	基礎又は初習言語科目
自由履修科目			
専門教育科目 88単位以上			
学域GS科目	6単位	アカデミックスキル 数理・データサイエンス基礎及び演習	プレゼン・ディベート論 デザイン思考
学域GS言語科目	2単位	学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語
専門基礎科目			
実践科目	11単位	アントレプレナー基礎 ワークショップデザイン演習 形態・色彩デザイン論 プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅱ	アントレプレナー演習Ⅰ 観光データ解析演習 ビジネスプラン作成演習 アプリ開発
実践科目			アントレプレナー演習Ⅱ デザイン技術演習 地理情報システム演習 観光プロジェクト演習Ⅰ
基盤科目	19単位以上	ホスピタリティ概論 ダイバーシティ促進 観光マーケティング基礎 観光倫理学 異文化理解とキャリア開発 北陸観光産業論 シェアリングエコノミー 環境と観光	観光デザイン学基礎 人工知能 観光調査法 観光の公衆衛生学 SDGs基礎 日本の工芸とデザイン 観光地域ビジネス論
基盤科目			世界変革技術論 デザイン経営 超スマートシティとSociety 5.0 観光法制度論 SDGs基礎 北陸の都市・農村・文化 数理行動モデル基礎
専門科目			
学知科目	28単位以上	<b>共感デザインコアエリア</b> エンタテインメントマネジメント論 文化と消費社会 比較地域発展論 無形文化遺産論 国際プロジェクトマネジメント・評価法 資源活用と環境共生 実践ブランディング  <b>関係デザインコアエリア</b> IoT技術 行動経済学 情報政策論 時空間データ解析 観光VR・XR ブランニング最適化 需要予測  <b>共創デザインコアエリア</b> 観光地経営論 地域社会学 イベント経営論 工業デザイン コミュニティ・デザイン論 観光社会学 観光開発・計画論	SDGs実践 持続的な観光 グローバルブランディング論 文化と地域経済 自然観光論 人間工学  都市・交通デザイン Web・クチコミ社会動向分析 グローバル・アクセシビリティ論 知的財産法 国際メディア分析論 データベース論  地域観光政策論 都市計画 地域マネジメント論 景観デザイン学 計画プロセス パブリックスペース論
学知科目			文化観光論 伝統文化変容論 ヘリテージ・コミュニケーション 生活デザイン論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論  データサイエンス実践 観光データ解析応用 交流ネットワーク科学 統計的意思決定論 国際コンフリクト・マネジメント 観光DX  地域計画基礎 設計デザイン リノベーション論 ソーシャル・ビジネス論 地域居住論 ホスピタリティ・マネジメント
鍛錬科目	4単位	観光ビジネス実践A 観光実践留学A 国際インターンシップA	観光ビジネス実践B 観光実践留学B 国際インターンシップB
鍛錬科目			観光ビジネス実践C 観光実践留学C 国際インターンシップC
確立科目	8単位	融合研究	融合演習
確立科目			融合試験
自主選択枠	10単位以上		

本書の内容は全て「構想(案)」であり、今後も「変更もありうる」ことを特に記します。